

平成23年度第1回大阪府環境審議会野生生物部会及び第2回シカ・イノシシ保護管理検討会における委員意見とその対応について【シカ保護管理計画】

H23.7.21 第1回野生生物部会	H23.8.30 第2回シカ・イノシシ保護管理検討会	【対応】
【P 2】 図1 区域図 ・京都府の生息地で色抜け部分の修正	【P 2】 図1 区域図 ・農会アンケートの標記の修正	→色抜け部分の修正 →「農業実行組合長へのアンケート調査」に修正
【P 4】 表1 推定生息密度の推移 ・推定結果の標記		→「シカの情報が得られなかった区画」に修正
【P 5】 表2 第2期における個体数調整計画と捕獲実績 ・H20 の当初計画が 300	【P 6】 図4 雌雄別捕獲頭数の推移 ・狩猟（不明）のデータが一番下で雌雄比が分かりにくくなっている	→H20 の当初計画数を 400 に修正 →狩猟（不明）のデータを一番上に修正
【P 6】 図5 銃による有害鳥獣捕獲のCPUE ・イノシシで同じ箇所は狩猟の CPUE の図を載せている。 ・シカでも狩猟の CPUE を載せるべき	【P 6】 図6 農林業被害面積、金額 ・H21 からの被害量の調査手法変更について コメント必要	→狩猟の CPUE の図に差し替え →図に「※平成 21 年度より被害の算定方法を見直」のコメント追加

	<p>【P 7】</p> <p>(4) その他 ①生態系への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広範囲で抽象的では？ 	→具体的な地点の記載を追加
	<p>【P 8～9】</p> <p>図7 図8 図9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ人数のグラフである事を示すべき 	→縦軸及びグラフ名にデータが延べ人数であることを標記
<p>【P 10】</p> <p>6. 保護管理の目標</p> <p>(1) 大阪府シカ保護管理計画 (第2期) の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獵期延長の効果の記載と図を追加した方が良い 		→獵期延長の効果の記載と図の追加を行う。
<p>(2) 管理目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では 700 頭としていることの背景の記載が弱い。 ・700 頭を維持・拡大では弱いので、700 頭以上といった意思表示必要。 		→現状の捕獲頭数である 700 頭以上の捕獲が必要な旨記載
<p>(3) 目的を達成するための施策の基本的考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッシカ捕獲の奨励理由がシカ個体群の比率の高さとするのは語弊がある。 ・個体数抑制のための手法としての記載に 		→記載内容の修正を行う。
	<p>【P 12】</p> <p>表4 モニタリング内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生息地の植生状況の調査が生息状況調査の項目にあるのはおかしい（植生調査は生態系被害の調査であるはず）。 	→被害状況調査に「生態系被害状況」の項目を作成し、そこに生息地の植生調査を記載